

水彩画教室「桜のバス停」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

文京区内のバス停です バス停の標識が2つ並んでいるのは 都営バスと文京区のバスが停まるからです このバス停は区立小学校の前にあって ソメイヨシノの若木がたくさん植えられています バスを降りた人は しばらく桜の美しさに見入っています あと数日後にはこの桜の下を 父母に手をひかれた一年生が通ることでしょう



これが完成した絵です



1、桜は色味が少なく 水彩では難しいです 影になった部分の色が重要です



2、桜の白い部分は「修正液」を使いました 楊枝の先につけて 点描で表現しています



3、赤いバス停には 実は犬の顔の絵が描いてあるのですが どうも失敗です



4、バスの行先表示は オレンジ色の不透明ペンで書きました ややわざとらしい感じになってしまいました



5、バスの前面は重要です しかし まだ丁寧さがたりませんでした



6、背後のビルは塾の建物で「〇〇高校合格」などと書かれているのですが 適宜省略しました